

みずな（京菜、水菜、京水菜等） に使用可能な農薬一覧表

銚田市農業振興センター
【令和8年1月1日現在】

<殺菌剤>

薬剤名	対象病害虫							希釈倍数 使用量 (散布液量)	使用時期	本剤 使用 回数	使用方法等	有効成分の種類	同左毎の使用回数 <備考>	分類 コード
	立 枯 病	白 さ び 病	尻 腐 病	根 こ ぶ 病	軟 腐 病	う ど ん こ 病	その他 病害虫							
タチガレン液剤	●							500倍 (3L/m ²)	は種時	1回	土壌灌注	ヒドロキシイソキサゾールカリウム	1回 (殺菌植調剤)	32
ダコニール1000	●							1000倍 (3L/m ²)	は種時	1回	土壌灌注	TPN	1回	M05
ネビジン粉剤				●				20~30kg/10a	は種又は定植前	1回	全面土壌混和	フルスルファミド	1回 <非結球あぶらな科野菜類(なばな類を除く)該当>	36
								20kg/10a	は種又は定植前	1回	作条土壌混和			
リドミル粒剤2		●						10kg/10a	は種時又は定植時	1回	全面土壌混和	メタラキシル	2回以内(但し、種子への処理は1回以内、土壌混和は1回以内)	4
リゾレックス水和剤							リゾクトニア病	1000倍 (3L/m ²)	は種前	1回	土壌灌注	トルクロホスメチル	1回	14
ヨネポン水和剤		●			●			500倍 (100~300L/10a)	収穫14日前まで	4回 以内	散布	ノニルフェノール スルホン酸銅	4回以内 <非結球あぶらな科野菜類(のざわなを除く)該当> (殺虫殺菌剤)	M01
アミスター20フロアブル		●						2000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	2回 以内	散布	アゾキシストロビン	3回以内(但し、粒剤は1回以内、水和剤は2回以内)	11
ランマンフロアブル		●						2000倍 (100~300L/10a)	収穫3日前まで	3回 以内	散布	シアゾファミド	3回以内 <非結球あぶらな科野菜類(なばな類を除く)該当>	21
フロンサイド粉剤				●				30kg/10a	は種前	1回	全面土壌混和	フルアジナム	1回	29
ユニフォーム粒剤		●						9kg/10a	は種前又は定植前	1回	全面土壌混和	アゾキシストロビン	3回以内(但し、粒剤は1回以内、水和剤は2回以内)	11
							メタラキシルM					2回以内(但し、種子への処理は1回以内、土壌混和は1回以内)	4	
ジーファイン水和剤		●			●			1000倍 (150~500L/10a)	収穫前日まで	-	散布	炭酸水素ナトリウム	-	NC
						●		750~1000倍 (150~500L/10a)	収穫前日まで	-	散布	無水硫酸銅	- <野菜類(なすを除く)該当>	M01

※参考資料の作成に当たっては、農薬使用基準の内容について細心の注意をはらっていますが、農薬を使用する時は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください。

※農薬散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農薬が飛散（ドリフト）しないよう注意して行いましょう。特に、周辺作物が収穫期に近い場合は、栽培者と情報交換することが重要です。

※分類コードは、薬剤の有効成分を作用機構別に分類したものです。異なる数字・記号の薬剤でローテーション防除を心がけてください。

<殺菌剤>みずな

【令和8年1月1日現在】

薬剤名	対象病害虫							希釈倍数 使用量 (散布液量)	使用時期	本剤 使用 回数	使用方法等	有効成分の種類	同左毎の使用回数 <備考>	分類 コード
	立 枯 病	白 さ び 病	尻 腐 病	根 こ ぶ 病	軟 腐 病	う ど ん こ 病	その他 病害虫							
クプロシールド					●			1000~1500倍 (100~300L/10a)	発病前~発病初期	-	散布	塩基性硫酸銅	- <野菜類該当> (殺虫殺菌剤)	M01
							斑点細菌病、べと病	1000~2000倍 (100~300L/10a)	発病前~発病初期	-	散布			
							ナメクジ類	1000倍 (100~300L/10a)	発生前~発生初期	-	散布			
ピシロックフロアブル		●						1000倍 (100~300L/10a)	収穫前日まで	3回 以内	散布	ピカルブトラゾクス	3回以内 <非結球あぶらな科野菜類該当>	U17
マスタピース水和剤					●			1000~2000倍 (100~300L/10a)	収穫前日まで	-	散布	シュードモナスロデシア	- <野菜類(だいこん、はくさい、ブロッコリー、キャベツ、レタス、非結球レタス、かぼちゃ、ズッキーニ、しょうが、トマト、ミニトマトを除く)該当>	NC
Zボルドー					●			500~1000倍 (100~300L/10a)	発病前~発病初期	-	散布	塩基性硫酸銅	- <野菜類(キャベツを除く)該当>	M01
							褐斑細菌病、黒腐病、黒斑細菌病、斑点細菌病、べと病	500倍 (100~300L/10a)	発病前~発病初期	-	散布			

※参考資料の作成に当たっては、農薬使用基準の内容について細心の注意をはらっていますが、農薬を使用する時は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください。

※農薬散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農薬が飛散(ドリフト)しないよう注意して行いましょう。特に、周辺作物が収穫期に近い場合は、栽培者と情報交換することが重要です。

※分類コードは、薬剤の有効成分を作用機構別に分類したものです。異なる数字・記号の薬剤でローテーション防除を心がけてください。

みずな（京菜、水菜、京水菜等） に使用可能な農薬一覧表

銚田市農業振興センター

【令和8年1月1日現在】

<殺虫剤>

薬剤名	対象病虫害									希釈倍数 使用量 (散布液量)	使用時期	本剤 使用 回数	使用方法	有効成分の種類	同左毎の使用回数 <備考>	分類 コード
	ア ブ ラ ム シ 類	ム キ ス ジ ノ ミ ハ	コ ナ ガ	ア オ ム シ	ヨ ト ウ ム シ 類	ア ザ ミ ウ マ 類	類 ハ モ グ リ バ エ	シ ヤ サイ ゾ ウ ム	その他 病虫害							
ラグビーMC粒剤									ネコブセンチュウ	20kg/10a	は種前	1回	全面処理土壌混和	カズサホス	1回	1B
アドマイヤーフロアブル	●									4000倍 (100~300L/10a)	収穫3日前まで	2回 以内	散布	イミダクロプリド	2回以内	4A
スタークル粒剤/ アルバリン粒剤	●	●								6kg/10a	は種時	1回	播溝土壌混和	ジノテフラン	3回以内(但し、は種時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内) <非結球あぶらな科葉菜類(フゲンサイを除く)該当>	4A
スタークル顆粒水溶剤	●									3000倍 (100~300L/10a)	収穫3日前まで	2回 以内	散布	ジノテフラン	3回以内(但し、は種時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内) <非結球あぶらな科葉菜類(フゲンサイ、細わかびを除く)該当>	4A
		●								2000倍 (100~300L/10a)	収穫3日前まで	2回 以内	散布			
フォース粒剤		●							ネキリムシ類	4kg/10a	は種前	1回	全面土壌混和	テフルトリン	2回以内(但し、は種前までの処理は1回以内、は種後は1回以内) <非結球あぶらな科葉菜類(からしなを除く)該当>	3A
									ネキリムシ類	4kg/10a	収穫14日前まで	1回	株元散布			
ダイアジノン粒剤5									ケラ	6kg/10a	は種時	1回	全面土壌混和	ダイアジノン	1回	1B
									ネキリムシ類	6kg/10a	出芽時	1回	土壌表面散布			
		●							ネキリムシ類	6kg/10a	は種時又は定植時	1回	全面土壌混和			
アディオオン乳剤	●							●	ダイコンハムシ	2000~3000倍 (100~300L/10a)	収穫前日まで	3回 以内	散布	ペルメトリン	3回以内	3A
				●						2000倍 (100~300L/10a)	収穫前日まで	3回 以内	散布			

※参考資料の作成に当たっては、農薬使用基準の内容について細心の注意をはらっていますが、農薬を使用する時は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください。

※農薬散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農薬が飛散(ドリフト)しないよう注意して行いましょう。特に、周辺作物が収穫期に近い場合は、栽培者と情報交換することが重要です。

※分類コードは、薬剤の有効成分を作用機構別に分類したものです。異なる数字・記号の薬剤でローテーション防除を心がけてください。

<殺虫剤> みずな

【令和8年1月1日現在】

薬剤名	対象病害虫									希釈倍数 使用量 (散布液量)	使用時期	本剤 使用 回数	使用方法	有効成分の種類	同左毎の使用回数 <備考>	分類 コード
	ア ブ ラ ム シ 類	ム キ ス ジ ノ ミ ハ	コ ナ ガ	ア オ ム シ	ヨ ト ウ ム シ 類	ア ザ ミ ウ マ 類	類 ハ モ グ リ バ エ	シ ヤ サ イ ゾ ウ ム	その他 病害虫							
マトリックフロアブル					●					2000倍 (100~300L/10a)	収穫14日前まで	3回 以内	散布	クロマフェノジ ド	3回以内 <非結球あぶらな科葉菜類該当> (昆虫成長制御剤)	18
ダントツ水溶剤	●									2000~4000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	3回 以内	散布	クロチアニジン	4回以内(但し、は種時の土壌混和は1 回以内、散布は3回以内)	4A
モスピラン水溶剤	●	●							カブラハバチ	4000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	1回	散布	アセタミプリド	1回 <非結球あぶらな科葉菜類(フゲンサイを除く)該当>	4A
アフーム乳剤			●	●	# ●	●	●		ハイマダラノメイ ガ、ハスモンヨト ウ	1000~2000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	3回 以内	散布	エマメクチン安 息香酸塩	3回以内 <非結球あぶらな科葉菜類(なばな類、のざわな、フゲ ンサイ、こまつなを除く)該当>	6
カスケード乳剤			●	●					マメハモグリバエ	2000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	2回 以内	散布	フルフェノクス ロン	2回以内 <非結球あぶらな科葉菜類(なばな類を除く)該当> (昆虫成長制御剤)	15
スピノエース顆粒水和剤			●	●	●	●	●		ハイマダラノメイ ガ	5000倍 (100~300L/10a)	収穫3日前まで	1回	散布	スピノサド	1回	5
プレバソンフロアブル5			●							2000倍 (100~300L/10a)	収穫前日まで	2回 以内	散布	クロラントラニ リプロール	2回以内 <非結球あぶらな科葉菜類(799A、非結球はくさい、な ばな類を除く)該当>	28
ウララDF	●									4000倍 (100~300L/10a)	収穫前日まで	2回 以内	散布	フロニカミド	2回以内 <非結球あぶらな科葉菜類該当>	29
トランスフォームフロ アブル	●									2000倍 (100~300L/10a)	収穫前日まで	3回 以内	散布	スルホキサフロ ル	3回以内 <非結球あぶらな科葉菜類該当>	4C
モスピラン粒剤	●		●							3kg/10a	は種時	1回	播溝土壌混和	アセタミプリド	1回 <非結球あぶらな科葉菜類(フゲンサイを除く)該当>	4A
モスピラン顆粒水溶剤	●	●							カブラハバチ	4000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	1回	散布	アセタミプリド	1回 <非結球あぶらな科葉菜類(フゲンサイを除く)該当>	4A
コテツフロアブル			●							2000倍 (100~300L/10a)	収穫14日前まで	1回	散布	クロルフェナピ ル	1回 <非結球あぶらな科葉菜類(こまつな、フゲンサイ、なば な類、非結球はくさい、非結球444Pを除く)該当>	13

#「ヨトウムシ」で登録

※参考資料の作成に当たっては、農業使用基準の内容について細心の注意をはらっていますが、農業を使用する時は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農業の誤った使用を行わないようにしてください。

※農業散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農業が飛散(ドリフト)しないよう注意して行いましょう。特に、周辺作物が収穫期に近い場合は、栽培者と情報交換することが重要です。

※分類コードは、薬剤の有効成分を作用機構別に分類したものです。異なる数字・記号の薬剤でローテーション防除を心がけてください。

<殺虫剤>みずな

【令和8年1月1日現在】

薬剤名	対象病害虫								希釈倍数 使用量 (散布液量)	使用時期	本剤 使用 回数	使用方法	有効成分の種類	同左毎の使用回数 <備考>	分類 コード
	ア ブラ ム シ 類	キ ス ジ ノ ミ ハ ム シ	コ ナ ガ	ア オ ム シ	ヨ ト ウ ム シ 類	ア ザ ミ ウ マ 類	ハ モ グ リ バ エ 類	ヤ サイ ゾ ウ ム シ							
エコマスターBT			●	●				シロイチモジヨトウ	1000~2000倍 (100~300L/10a)	発生初期 但し、収穫前日まで	-	散布	BT (生菌)	- <野菜類該当>	11A
					# ●			オオタバコガ、ハ スモンヨトウ	1000倍 (100~300L/10a)	発生初期 但し、収穫前日まで	-	散布			
ブロフレアSC		●	●	●					2000~4000倍 (100~300L/10a)	収穫前日まで	3回 以内	散布	プロフラニリド	3回以内 <非結球あぶらな科葉菜類該当>	30
アクセルフロアブル			●					キズジノミハムシ	1000倍 (100~300L/10a)	収穫前日まで	3回 以内	散布	メタフルミゾン	3回以内 <非結球あぶらな科葉菜類該当>	22B
								ハスモンヨトウ	2000倍 (100~300L/10a)	収穫前日まで	3回 以内	散布			
マッチ乳剤			●	●					2000倍 (100~300L/10a)	収穫3日前まで	3回 以内	散布	ルフェヌロン	3回以内 <非結球あぶらな科葉菜類該当> (昆虫成長制御剤)	15
アニキ乳剤		●	●				●	ハスモンヨトウ	1000~2000倍 (100~300L/10a)	収穫前日まで	3回 以内	散布	レピメクチン	3回以内 <非結球あぶらな科葉菜類該当>	6
アルバリン顆粒水溶剤	●								3000倍 (100~300L/10a)	収穫3日前まで	2回 以内	散布	ジノテフラン	3回以内(但し、は種時の土壌混和は1 回以内、散布は2回以内) <非結球あぶらな科葉菜類(フゲンサイ、細わさびを除 く)該当>	4A
		●							2000倍 (100~300L/10a)	収穫3日前まで	2回 以内	散布			
ディアナSC			●			●		ハスモンヨトウ、 ハモグリバエ類	2500~5000倍 (100~300L/10a)	収穫前日まで	2回 以内	散布	スピネトラム	2回以内 <非結球あぶらな科葉菜類(こまつな、フゲンサイ、なば な類を除く)該当>	5
ヨーバルフロアブル			●						5000倍 (100~300L/10a)	収穫前日まで	2回 以内	散布	テトラニリプ ロール	2回以内 <非結球あぶらな科葉菜類(こまつなを除く)該当>	28
ナメクリーン3								ナメクジ類	1~3kg/10a	収穫3日前まで	2回 以内	株元散布	メタアルデヒド	6回以内(但し、株元散布は2回以内) <非結球あぶらな科葉菜類該当>	-

#「ヨトウムシ」で登録

※参考資料の作成に当たっては、農薬使用基準の内容について細心の注意をはらっていますが、農薬を使用する時は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください。

※農薬散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農薬が飛散(ドリフト)しないよう注意して行いましょう。特に、周辺作物が収穫期に近い場合は、栽培者と情報交換することが重要です。

※分類コードは、薬剤の有効成分を作用機構別に分類したものです。異なる数字・記号の薬剤でローテーション防除を心がけてください。

みずな（京菜、水菜、京水菜等） に使用可能な農薬一覧表

銚田市農業振興センター

【令和8年1月1日現在】

<除草剤>

薬剤名	対象雑草	使用量・薬量 (希釈水量)	使用時期	本剤 使用 回数	使用方法等	有効成分の種類	同左毎の使用回数 <備考>	分類 コード
トレファノサイド粒剤 2.5	一年生雑草 (ツクサ科、カツリガサ科、キ科、 アブラナ科を除く)	3kg/10a	は種直後	1回	全面土壌散布	トリフルラリン	1回 (直播栽培)	3
トレファノサイド乳剤	一年生雑草 (ツクサ科、カツリガサ科、キ科、 アブラナ科を除く)	150~200mL/10a (100L/10a)	は種直後	1回	全面土壌散布	トリフルラリン	1回 <非結球あぶらな科葉菜類該当>	3
ナブ乳剤	一年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを除く)	150~200mL/10a (100~150L/10a)	雑草生育期 (イネ科雑草3 ~5葉期) (但し収穫7日前まで)	1回	雑草茎葉散布又は全面 散布	セトキシジム	1回 <非結球あぶらな科葉菜類該当>	1
タッチダウンiQ	一年生雑草	250~500mL/10a (25~50L/10a)	耕起7日以前 (雑草生育期)	1回	雑草茎葉散布	グリホサートカリ ウム塩	1回 <野菜類#1該当>	9
ラウンドアップマックス ロード	一年生雑草	200~500mL/10a (通常散布) 50~100L/10a (少量散布) 5~50L/10a	耕起前まで (雑草生育期)	1回	雑草茎葉散布	グリホサートカリ ウム塩	1回 <野菜類#2該当>	9

#1 野菜類(えだまめ、たらのき、はくさい、キャベツ、レタス、ねぎ、たまねぎ、ほうれんそう、にんじん、だいこん、はつかだいこん、アスパラガス、トマト、きゅうり、なす、オリーブ(葉)、ピーマン及びとうがらし類、びわ(葉)、薬用にんじん、てんさい、豆類(種実、ただし、らっかせいを除く)、かんしょ、ばれいしょを除く)

#2 野菜類(えだまめ、はくさい、キャベツ、アスパラガス、レタス、ねぎ、たまねぎ、にんにく、ほうれんそう、にんじん、だいこん、トマト、ピーマン、とうがらし類、きゅうり、なす、びわ(葉)、オリーブ(葉)、たらのき、薬用にんじん、いも類、豆類(種実)を除く)

※参考資料の作成に当たっては、農薬使用基準の内容について細心の注意を払っていますが、農薬を使用する時は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください。

※農薬散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農薬が飛散(ドリフト)しないよう注意して行いましょう。特に、周辺作物が収穫期に近い場合は、栽培者と情報交換することが重要です。

※分類コードは、薬剤の有効成分を作用機構別に分類したものです。異なる数字・記号の薬剤でローテーション防除を心がけてください。